

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
(1)子どものスポーツ推進

番号	1-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員	
取組項目	「まちとも」等と連携した放課後のスポーツ推進				
取組内容	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが「まちとも」やその他の子ども向けの教室等で子どもたちにスポーツの楽しさを伝えます。 後期では活動機会をさらに増やしていけるよう、スポーツ機会を提供する場の拡充を図ります。				
指標	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが地域と連携し子ども向けに機会提供した地区数		現状値 (2023年度)	3地区	
			目標値 (2028年度)	10地区	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	4地区	6地区	8地区	10地区	10地区
実施状況	3地区	3地区	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	<p>【スポーツ推進委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○忠生第三小学校(木曾地区)</li> <li>・定期的なまちともへ参加し、ポッチャ、モルックを実施した。</li> <li>○鶴川第三小学校(鶴川地区)</li> <li>・オータムスクールに参加し、ポッチャやラダーゲッターを実施した。</li> <li>○小山中央小学校(小山・小山ヶ丘地区)</li> <li>・サマースクールに参加し、ポッチャやラダーゲッターを実施した。</li> </ul> <p>【地域スポーツクラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○忠生第三小学校(木曾地区) 町田スポーツ文化ネットワーク</li> <li>・毎週水曜日にまちともへ、講師を派遣し、スポーツ教室を開催した。</li> </ul>				
総括	「まちとも」等と連携が可能な地域スポーツクラブを把握するため、ヒアリングを行ったところ、連携が可能で連携を希望するクラブが数か所あることが確認ができた。 しかし、2025年度内には、まちとも等への具体的なアプローチができず、目標値の達成には至らなかった。 地域スポーツクラブとまちとも等を繋げるため、今後、調整を行っていく。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
(1)子どものスポーツ推進

番号	1-1-2		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員 公園緑地課	
取組項目	市内10地区のスポーツマップの更新・活用				
取組内容	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を更新し、市内の全小中学生に配布します。 後期ではさらに、スポーツ推進委員や地域スポーツクラブなどのスポーツ機会を提供する関係団体の情報をあわせて掲載します。				
指標	新たな情報追加地区数		現状値 (2023年度)	0地区	
			目標値 (2028年度)	10地区	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	2地区	4地区	7地区	10地区	10地区
実施状況	2地区	4地区	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームタウンチームと連携を図り、市内全域(10地区)のスポーツマップを作成し、小学校40校に配布した。</li> <li>・新たに2地区のスポーツマップに、地域スポーツクラブの情報を掲載し、一層のスポーツ機会の提供を図った。</li> <li>・配布した小学校の子どもたちだけでなく、未就学児の保護者等、子育て世代の方が情報を取得できるよう、スポーツマップのデータをホームページに公開し、ボール遊び等ができる公園については、市内全域の情報をホームページに公開した。</li> </ul>				
総括	ホームタウンチームの掲載内容を充実するとともに、新たに2地区で地域スポーツクラブの情報を掲載することが出来た。今後も、新たな情報を掲載できるよう、ホームタウンチームや地域スポーツクラブと調整を進めていく。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1)子どものスポーツ推進

番号	1-1-3		実施主体	教育委員会		
取組項目	小学校連合体育大会の開催					
取組内容	市内全小学校が参加する連合体育大会を開催します。					
指標	連合体育大会参加学校数		現状値 (2023年度)	42校		
			目標値 (2028年度)	38校		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	42校	40校	39校	39校	38校	
実施状況	38校	40校	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	<p>2025年度は、近隣小学校(2～3校)ごとで実施することとした。 40校を18グループに分けて、学校間で調整を図りながら計画的に進めた。 9月から11月にかけて各グループの会場校で実施した。</p> <p>【参加校】 町田市立小学校 40校</p> <p>【競技種目】 ・100m走 ・400mリレー ・長なわ 等 ※各グループで競技種目を決めて実施。</p>					
総括	子どもたちの、自己の目標を達成する喜びを味わう姿や、他校との交流を深める中で、互いに認め合い励まし合う姿が見られた。グループごとでの開催が2年目となり、どのグループも円滑に運営することができた。本大会を通じて、他校の児童と交流、競技・応援することにより、スポーツを楽しむ機会となった。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1)子どものスポーツ推進

番号	1-1-4		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
取組項目	トップアスリートとの交流機会の創出					
取組内容	市内外で活躍する町田市ゆかりのトップアスリート等と市民との交流の機会を創出します。 後期では、パラスポーツに関わる選手との交流を継続して実施し、夢や希望、憧れの醸成を図ることで子どものスポーツへの興味、関心を高めます。					
指標	トップアスリートとの年間交流回数		現状値 (2023年度)	年17回		
			目標値 (2028年度)	17回		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	17回	17回	17回	17回	17回	
実施状況	19回	25回	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	<p>【野津田公園】 ・青山学院大学陸上競技部所属選手による競技会(計5回) ・5大学(明大、青学大、立大、中大、法大)の駅伝選手による競技会 ・オリンピック出場経験者、元プロサッカー選手等参加のスポーツフェス</p> <p>【総合体育館】 ・日本ハンドボールリーグ出場選手によるハンドボール教室 ・元日本代表選手によるバスケットボール教室 ・紅白出場経験もあるプロダンサーによるHIPHOPダンス教室 ・ブラインドサッカー選手によるブラインドサッカー体験会 ・ブラインドフットボール選手によるブラインドフットボール体験会 ・元オリンピックによるバク転教室 ・車椅子バスケットボール選手による車椅子バスケットボール体験会 ・パラ射撃選手によるパラ射撃体験会 ・ベースボール5無料体験会</p> <p>【緑ヶ丘グラウンド】 ・共同事業体である町田スポーツ文化ネットワークにゆかりのあるトップアスリートによるキッズサッカー練習会・交流会</p> <p>【三輪みどり山球場】 ・読売ジャイアンツ女子チームによる野球教室</p> <p>【中央公園】 ・女子バレーボール元日本代表選手による実技指導定期教室</p> <p>【室内プール】 ・小学生カヌー体験会(計4回)</p> <p>【こどもマラソン大会】 ・町田市出身の関根花観さん、山中孝一郎選手に出演いただき、スターターや参加選手にメッセージを頂戴したほか、表彰式でのプレゼンターや選手と一緒に走るなどの交流を図った。</p> <p>【市立小学校】 ・現役のパラバドミントン選手によるパラバドミントン体験会</p>					
総括	昨年度の実施状況を参考に、オリンピック出場経験者によるイベント、体験会など需要が高い事業を中心に実施した。 トップアスリート等と交流することにより、参加した子どもたちが、その種目に一層興味を持つ姿を確認することができた。 今後も、積極的にトップアスリート等との交流機会を創出するとともに、ブラインドサッカーなど、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー事業についても、継続的に実施していく。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1) 子どものスポーツ推進

番号	1-1-5		実施主体	教育委員会	
取組項目	部活動の地域連携の推進及び部活動指導員の活用				
取組内容	部活動の地域連携の推進や部活動指導員を活用することで、子どもたちが、スポーツ活動を継続して楽しむことができる機会を確保することを目指します。				
指標	①町田市における部活動の地域連携に関する方針検討と決定		現状値 (2023年度)	-	
	②国や都の制度を活用した部活動の地域連携の推進		目標値 (2028年度)	①- ②拡充	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	①方針決定 ②検討	①- ②実施	①- ②拡充	①- ②拡充	①- ②拡充
実施状況	①方針決定 ②検討	①- ②実施	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	<p>2025年度は、教育委員会事務局、関係課、中学校担当校長からなる部活動地域連携検討委員会を4回実施した。 検討委員会では、町田市立中学校の部活動地域連携の取組についての協議や拠点校方式部活動の実施に向けた協議、市内地域連携・地域展開モデル校の取組を試行し、検証を行った。</p> <p>【部活動指導員配置数】 73名(延べ人数)</p>				
総括	<p>地域連携・地域展開モデル校2校の取組については、学校と地域の多様な人材や団体からなる協議会を設置し、部活動を地域と共に運営することができた。モデル校の取組を検証、協議しながら、2026年度以降の取組の参考にする。</p> <p>また、休日(土曜日含む)の部活動においては、部活動の指導を希望しない教員が携わらない体制を目指し、各学校の学校規模(生徒数及び学級数)に対する部活動の設置数の見直しを周知するとともに、他校の生徒が拠点校の部活動に参加できる拠点校方式部活動の導入について協議した。2028年度の薬師中・金井中の学校統合を見据え、2026年度から一部の部活動で拠点校方式部活動を実施する。</p>				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
 (2)働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-2-1		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
取組項目	従業員の健康増進のためにスポーツ活動の促進に取り組みたいと考える企業へのスポーツ情報等の提供					
取組内容	市内企業を対象として健康経営の必要性を啓発し、事業所によるスポーツ推進の取組みを支援するため、関連する情報や、スポーツ機会を提供します。					
指標	機会提供回数		現状値 (2023年度)	2回		
			目標値 (2028年度)	10回		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	調整	2回	4回	8回	10回	
実施状況	調整 1回	2回	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	<p>【町田市立総合体育館】 近隣企業(民間保育園)のスポーツ活動の促進につなげるため、館内見学ツアー等でスポーツ情報の提供を実施した。</p> <p>【町田中央公園】 東京都と連携して、サン町田旭体育館のアリーナを活用し、市内事業所のスポーツ活動を推進した。</p>					
総括	2025年度は、新たに、東京都と連携し、サン町田旭体育館のアリーナにて、市内の障がい者就労移行支援事業所の運動習慣定着活動を実施した。 今後も、より多くの市内企業等がスポーツ推進を図れるよう、調整を進めていく。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
 (2)働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-2-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 ホームタウンチーム		
取組項目	ホームページやSNS等多様な媒体・手段を活用した運動動画等の情報発信					
取組内容	SNS等を情報源とする世代の方を主な対象とし、時間や場所を選ばずにできる運動動画や、スポーツ施設等の情報を発信することで、スポーツをする機会を持ちやすくなるよう働きかけます。その他、スポーツに関わる様々な情報を発信することで、スポーツ自体への関心が高まるよう働きかけます。					
指標	運動関連動画等の発信数		現状値 (2023年度)	60件		
			目標値 (2028年度)	60件		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	60件	60件	60件	60件	60件	
実施状況	166件	265件	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	<p>【野津田公園】 野津田公園内のスポーツ関連の自主事業の案内をinstagramで紹介。</p> <p>【町田市立総合体育館】 毎月1回公式YouTubeにて自宅で行えるトレーニング動画の配信 【成瀬クリーンセンターテニスコート】 毎月1回公式YouTubeにて自宅で行えるトレーニング動画の配信 【三輪みどり山球場】 毎月1回公式YouTubeにて自宅で行えるトレーニング動画の配信 【緑ヶ丘グラウンド】 毎月1回公式YouTubeにて自宅で行えるトレーニング動画の配信 【町田中央公園】 Instagramを開設。施設や教室案内を投稿。約70回投稿を実施。</p> <p>【鶴間公園】 SNSでスポーツイベント、キャンペーン告知、施設空き状況などを100回発信。</p> <p>【室内プール】 おうちでできる かんたん運動動画(Facebook)を45回配信。</p> <p>【スポーツ振興課】 新たに、防災をテーマとしたストレッチ動画1本を配信。</p>					
総括	SNSを有効に活用することで、施設内の掲示やホームページ以外で、定期的に各種取り組みをPRすることができた。また、動画視聴だけでなく、教室やイベントの集客にもつながった。 今後も、より多くの市民がスポーツに関する情報を得られるよう、配信件数や投稿回数を増やすとともに、内容の充実を図っていく。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
 (2) 働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	1-2-3		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員 スポーツ協会 指定管理者	
取組項目	家族で参加できるスポーツイベントの開催				
取組内容	すば一つ祭まちだや市民体力テスト等のイベントを実施し、家族で参加できるスポーツイベントを開催します。 後期では、より多くのイベントで、親子で一緒にスポーツを楽しめるよう工夫し、子育て世代の方のスポーツ実施率が向上するよう、取り組みます。				
指標	①すば一つ祭まちだ参加者数 ②市民体力テスト年間参加者数		現状値 (2023年度)	①延べ2,700人 ②172人	
			目標値 (2028年度)	①延べ2,700人 ②年180人	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人
実施状況	①延べ3,200人 ②年179人	①延べ1,100人 ②年141人	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	特に参加者の少ない20代から40代の働き盛り世代・子育て世代に多く参加してもらえよう、親子で楽しめるニュースポーツ体験コーナー(カーレット)の設置を行った。 また、今までは体育館周辺の近隣小学校へチラシ配布していたが、市内全小学校へtetoru(保護者への連絡用アプリ)配信を行った。高齢者施設へのチラシ配布によるイベント周知を行った。体力テストの測定対象は20歳から79歳までであるが、ファミリーで楽しんでもらえるように、6~19歳の方の測定用紙を用意したほか、小学生以下には参加賞を用意し、幅広い年代の方にご参加いただけるよう工夫した。また、包括連携協定を締結した民間事業者に協力いただき、骨密度測定会を実施した。				
総括	20代から40代は子育て中の方も多いため、事前周知として、tetoru配信を行うとともに、ファミリーで測定会に参加できるような環境づくりに配慮した。また、待ち時間短縮のため、一部レイアウトの見直しを行った。その効果もあり、ファミリーでの参加者が増加した。今後も、より多くの方に参加していただけるよう、関係団体等と連携し、イベント内容の充実を図っていく。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
(3)高齢者のスポーツ推進

番号	1-3-1		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員		
取組項目	高齢者へのニュースポーツ啓発					
取組内容	スポーツ推進委員がニュースポーツを普及し、高齢者の活動でスポーツの面白さ、楽しさを伝えます。					
指標	高齢者支援センターと連携して事業を実施した回数		現状値 (2023年度)	5回		
			目標値 (2028年度)	10回		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	6回	7回	8回	9回	10回	
実施状況	4回	1回	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	○南第三高齢者支援センター ・地域介護予防教室5回コースのうち2回を担当しモルック指導を行った。					
総括	介護予防教室の立ち上げ支援を通じて、地域住民が主体的に健康づくりに取り組む、新たなグループの誕生のサポートを実施した。 他方、スポーツ推進委員の入れ替わりや人数減により、施設からの全ての依頼に対応できないケースや、依頼が特定の施設に偏るといった状態も生じている。 今後は、スポーツ推進委員から主体的に企画・提案することができるよう、調整を進めていく。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
(3)高齢者のスポーツ推進

番号	1-3-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
取組項目	温浴施設等を活用したスポーツ環境の充実					
取組内容	室内プールや、併設する温浴施設を活用し、スポーツ教室等を通じて地域の仲間づくりや多世代交流の機会を創出します。 後期では、スポーツ習慣がない高齢者の方でも参加しやすい教室事業を定期的実施することで、高齢者のスポーツ推進を図ります。					
指標	高齢者の方がより参加しやすい教室の実施		現状値 (2023年度)	実施		
			目標値 (2028年度)	実施		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	実施	実施	実施	実施	実施	
実施状況	実施	実施	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	【室内プール】 ○教室事業等 延べ11,884人 ・各エアロ、各水泳教室、水中ウォーク、ヨガ、ボールdeボディケア、フラダンス、のびのび体操&ストレッチ、バランスボール、ゆがみ改善運動、リズムに合わせてボクシングを実施。 ○プール祭り(9月) 総来館者数3,192人 ・プールとトレーニング室の無料開放、多目的室におけるスポーツ体験教室、工作教室、緑日等、スポーツを通じた、交流機会を創出した。					
総括	年間を通して、プールや多目的室等において、各種教室事業を行い、高齢者等のスポーツ推進を図るとともに、9月には、地域の仲間づくりや多世代交流の機会を創出するため、プール祭りを実施した。 今後も、地域に根差した施設運営を行うことにより、スポーツ推進を図っていく。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(4) 障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-1		実施主体	障がい福祉課 子ども発達支援課 指定管理者				
取組項目	スポーツ・レクリエーション教室等の開催							
取組内容	障がい者(児)スポーツ教室を開催し、スポーツを楽しめる環境を整えます。							
指標	年間開催回数 ①障がい児スポーツ教室(体育館、プール) ②指定管理者等による教室・イベント事業		現状値 (2023年度)	①体:33回、プ:30回 ②30回		目標値 (2028年度)	①体:36回、プ:36回 ②40回	
	年度	2024	2025	2026	2027	2028		
実施計画	①体:36回 プ:36回 ②30回	①体:36回 プ:36回 ②32回	①体:36回 プ:36回 ②34回	①体:36回 プ:36回 ②37回	①体:36回 プ:36回 ②40回			
実施状況	①体:34回 プ:26回 ② 32回	①体:28回 プ:26回 ② 31回	-	-	-			
2025年度 具体的な 取り組み	<p>【野津田公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パラ(障がい者)陸上競技教室 全4回 延べ16人</li> <li>・パラ陸上競技体験(車いす競技)も含めた陸上競技イベント</li> <li>・ふれあいスポーツフェス町田2025(オリンピック出場経験者、元プロサッカー選手等参加のスポーツフェス) 1500人見込。</li> </ul> <p>【町田市立総合体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちだ☆子どもフェスタ2025 延べ1,903人 (車椅子タイムトライアル 917人、デフリンピッククイズ 986人)</li> <li>・チャレンジマッスル2025 延べ975人 (パラ射撃体験 635人、デフリンピックコーナー 340人)</li> <li>・市民体力テスト 延べ141人 (ニューバラスポーツ体験(カーレット)141人)</li> <li>・トリスポーツ&amp;防災フェスタ 延べ見込み人数3,000人 (パラ射撃 600人、車椅子バスケットボール体験 600人、ブラインドサッカー体験 700人、オンラインポッチャ体験 1,000人、あすチャレファミリーアカデミーによる運動会 100人)</li> </ul> <p>【中央公園】計7回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者卓球教室 全5回 延べ39人</li> <li>・ポッチャ、モルック体験会 全2回 (参考:①障がい児スポーツ教室 28回)</li> </ul> <p>【鶴間公園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デフリンピック開催に伴うデフイベント(各デフスポーツ) 延べ400人</li> </ul> <p>【室内プール】計16回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポッチャ&amp;モルック貸出 2回</li> <li>・ポッチャ体験会 4回</li> <li>・モルック体験会 6回</li> <li>・親睦ポッチャ体験会 4回 (参考:①すみれ教室プール 26回)</li> </ul> <p>障がい者スポーツ教室(サン町田旭体育館、町田市子ども発達センター温水プール)を開催した。 【実施主体】障がい福祉課 【内容】土曜日(月2〜3回)の午後、障がい児(者)を対象に、有償ボランティア指導員によるスポーツ教室を実施した。体育館では体操、マラソン、バドミントン、バスケットボール、トランポリンを行い、温水プールでは水泳を行った。延べ参加人数:体育館644人、プール154人(2025/12/1現在)</p>							
総括	<p>体育館教室・プール教室ともに、指導員及び保護者(親の会)と協働し、参加者一人ひとりに対応した丁寧な指導を行うことができた。プール教室では、指導員の不足により、開催を見送る日が生じたものの、参加者の安全確保を最優先に、適切な運営を行うことができた。 施設で行われる大型イベントを中心にバラスポーツが体験できるブースなどを多く設置し、バラスポーツと触れ合う機会を提供したことで参加人数も大幅に増えたため、今後もより体験の場を充実させていく。 通常の教室も、昨年度同様の参加者があったものの、選挙等による突発的な施設の利用中止により、開催回数が減少した。 今後も、各種教室の認知度を高め、障がい者の方でも気軽に運動ができる機会を充実させていく。</p>							

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(4) 障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-2		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	小学生を対象とした障がい者スポーツ体験教室開催					
取組内容	市内の小中学校で、障がい者スポーツの体験教室キャラバンを行います。					
指標	年間参加者数		現状値 (2023年度)	1,116人		
	年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人	1,200人
実施状況	696人	78人	-	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	<p>市内小学校10校631人の児童を対象にパラバドミントンの体験教室を実施し、競技説明や競技用車いす体験、バドミントン体験を行った。また、その内、7校では1クラス2時間で実施した。 2022年度から継続して、町田市立総合体育館が試合会場となっている、「アクサプレイクップ ブラインドサッカー日本選手権FINALラウンド」において、日本ブラインドサッカー協会と連携し、ブラインドサッカー体験と試合観戦を組合わせた企画を実施し、30人が参加した。 (公財)日本財団バラスポーツサポートセンターと連携・協力し、同団体から寄贈を受けた、バラスポーツ用車いす「パラサボ!ミライ」を活用して、市立小山小学校において、「インクルーシブ運動会(車いすリレー)」を実施し、4年生120人が参加した。</p>					
総括	<p>パラバドミントン体験教室を通して、児童へのバラスポーツ理解促進を図るため、車いすでの段差の乗降や車いすリレーを取り入れるとともに、バドミントンの体験時間も拡充した。また、原則1クラス2時間とすることで、教室1回あたりの実施内容の充実を図った。 ブラインドサッカーの体験者からは、「体験を通じて、選手の凄さを実感した」、「目が見えないことの大変さがわかった」等の声もあり、バラスポーツの理解促進につながった。 加えて、(公財)日本財団バラスポーツサポートセンターと連携・協力し、市内の小中学校では初となる、「インクルーシブ運動会」を実施し、共生社会の実現に向けた、きっかけづくりに取組んだ。 今後も、スポーツを通じた共生社会の実現を目指して、日本パラバドミントン連盟や日本ブラインドサッカー協会等の関係団体と連携・協力し、各種取組を推進していく。</p>					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
 (4) 障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-3		実施主体	指定管理者 スポーツ振興課		
取組項目	障がい者のスポーツ参加機会の提供					
取組内容	インクルーシブスポーツ※を推進し、障がい者にスポーツ施設開放利用の周知をすることにより、利用者数を増やします。 ※ インクルーシブスポーツ・・・子どもから高齢者まで、障がい者も健常者も一緒に楽しめるスポーツ。					
指標	スポーツ施設開放年間利用者数		現状値 (2023年度)	年8,337人		
			目標値 (2028年度)	年20,000人		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	年9,200人	年9,400人	年9,600人	年19,800人	年20,000人	
実施状況	10,189人	12,376	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	【野津田公園】 延べ530人 ・みんなで楽しむスタジアム(パラ陸上競技体験(車いす競技)も含めた陸上競技イベント) 【町田市立総合体育館】 延べ 2,676人 ・トレーニング室 障がい者利用 2,556人 ・ニュースポーツ広場 障がい者利用 120人 【緑ヶ丘グラウンド】 延べ 270人 ・自主事業 グラウンドゴルフ 障がい者利用 250人 ・団体利用 障がい者利用 20人 【中央公園】 延べ1,500人 ・エアロビクス教室(障がい者とその家族が参加) 【室内プール】 延べ7,400人 ・プール 障がい者利用 5,400人 ・トレーニング室 障がい者利用 2,000人					
総括	各スポーツ施設の指定管理者と連携・協力し、障がい者のスポーツ参加機会の充実に取組んだことにより、利用者数が増加した。今後も、引き続き、既存のスポーツ施設において、参加機会の充実や創出に取組んでいく。また、年齢や性別、障がいの有無や種別にかかわらず、誰もが利用しやすい施設として、「町田木曽山崎パラアリーナ」の整備を進めていく。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
 (4) 障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-4		実施主体	障がい福祉課 スポーツ振興課 スポーツ推進委員		
取組項目	障がい者スポーツ大会の開催					
取組内容	市内福祉施設の障がい者及び個人参加の障がい者を対象として、障がい者スポーツ大会を実施します。					
指標	開催回数		現状値 (2023年度)	1回		
			目標値 (2028年度)	1回		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	1回	1回	1回	1回	1回	
実施状況	1回	1回	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	2025年11月1日に町田市立総合体育館で第52回障がい者スポーツ大会を実施した。 【内容】市内福祉施設の障がい者及び個人の障がい者が参加した。また、各施設職員以外にも、スポーツ推進委員、障がい児スポーツ教室指導員、町田ライオンズクラブ、町田ガールスカウトなどのボランティアスタッフも数多く参加し、大会運営に携わった。競技としては、徒競走、パン取り競争、対抗リレー、玉入れ、ポッチャ、卓球、フライングディスクを実施した。また、観覧できるアトラクションとして、ASVベスカドーラ町田チアダンスチームFiore、利根川Kスタジオエアロビクスによるダンスを実施した。 延べ参加人数:744人					
総括	今年度の障がい者スポーツ大会では、競技内容を工夫し、2024年度に人気を集めたポッチャのコート数を増やし、多くの参加者が楽しめる環境を整えた。また、民生委員・児童委員が参加者と共に競技に参加する形式での大会運営を行った。さらに、FC町田ゼルビアのマスコットキャラクター「ゼルビー」や、ASVベスカドーラ町田のマスコットキャラクター「ドーラクン」の協力で、大会を一層盛り上げた。					

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(4)障がい者のスポーツ推進

番号	1-4-5		実施主体	スポーツ振興課 施設管理者	
取組項目	(仮称)町田木曽山崎パラアリーナを活用したパラスポーツに関わる機会の提供				
取組内容	(仮称)町田木曽山崎パラアリーナを活用し、パラスポーツに関わる様々な機会を提供し、障がい者のスポーツ推進や、パラスポーツの普及啓発に取り組み、共生社会の実現を目指します。				
指標	施設を活用した機会提供の実施		現状値 (2023年度)	-	
			目標値 (2028年度)	実施	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	-	事業検討	事業検討	実施	実施
実施状況	-	事業者の公募 事業契約締結	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の選定に向けて、4月から公募を開始し、7月に提案書類の受付を行った。その後、10月に実施した、事業候補者選考委員会における評価結果を踏まえ、優先交渉権者を決定し、12月に市議会の議決を経て、事業者と本契約を締結後、基本設計に着手した。</li> <li>・2028年度の供用開始を見据え、施設利用に向けた機運を醸成するきっかけづくりとして、(公財)日本財団パラスポーツサポートセンターと連携・協力し、市内の小学校において、従来の運動会種目に「車いすリレー」を取り入れた「インクルーシブ運動会」等を実施した。</li> </ul>				
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2028年度中の供用開始を目指して、事業者と連携・協力し、基本・実施設計及び施設整備を進めていく。</li> <li>・引き続き、パラスポーツの普及啓発及び理解促進に向けたイベント等の取組を推進していく。</li> </ul>				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-1		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	大学・企業連携によるスポーツを支える人材の派遣					
取組内容	大学・企業連携により、子どもの遊びやスポーツ指導等、学生や民間企業が地域で活動する環境を整えます。 後期ではさらに、大学や企業にボランティア活動に関する情報を積極的に発信することで、スポーツを支える人材の拡充を図ります。					
指標	連携団体数		現状値 (2023年度)	7団体		
			目標値 (2028年度)	10団体		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	7団体	7団体	8団体	9団体	10団体	
実施状況	3団体	4団体	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	<p>○法政大学 ・法政大学の教員や学生が講師となり、協定に基づくスポーツ教室(バドミントン、陸上競技)を実施した。</p> <p>○大原簿記医療秘書公務員専門学校町田校 ・市民体カテストや子どもマラソン大会の運営に協力いただいた。</p> <p>○国士舘大学 ・国士舘大学の教員や学生が指導者となり実施する、「子どもスポーツ教室」について、市のSNSによる周知を行った。</p> <p>○桜美林大学 ・桜美林大学と一般財団法人世界少年野球推進財団(WCBF)が共催する「親子野球体験教室」について、後援及びチラシ配布を行った。</p>					
総括	ボランティア活動に関する情報発信を効果的に行うことができず、目標値を達成することができなかった。 今後は、積極的に情報発信を行うとともに、年度によって取組むことができる学校等にばらつきがあるため、継続的に連携できるよう、調整を進めていく。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-2		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	まちだサポーターズの活動機会の充実					
取組内容	スポーツ祭東京2013を契機としたスポーツボランティア「まちだサポーターズ」が活躍できる環境を整え、活動参加者数を増やします。					
指標	年間延べ活動参加者数		現状値 (2023年度)	年3,384人		
			目標値 (2028年度)	年3,400人		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	年 3,400人	年 3,400人	年 3,400人	年 3,400人	年 3,400人	
実施状況	年 2,625人	年 2,521人	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	<p>・第1四半期活動 31回690人 ・第2四半期活動 31回511人 ・第3四半期活動 43回814人 ・第4四半期活動 22回506人</p> <p>【内ホームタウンチーム】 ・FC町田ゼルビアに関する活動(2025シーズン) 17試合 319人 ・ASVベスカドーラ町田に関する活動(2025-2026シーズン) 11試合 188人</p>					
総括	2024年度と比べて、会員数が減少したことから、活動参加者数は約100人減少した。 FC町田ゼルビアホームゲーム開催時の活動については、次シーズンに向け、活動の参加者を増やすため、クラブ担当者とまちだサポーターズとの間で活動に関する課題等について意見交換会を実施した。 また、まちだサポーターズで企画したイベントや、保健所職員や東京都職員によるスキルアップ研修の開催など、新たな取組みが好評であった。 今後、まちだサポーターズの活動機会を増加させるため、庁内各部署に周知を行うとともに、活動意欲の維持・向上に向けた研修会を実施する等、活動参加者や会員の増加に取組んでいく。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	2-1-3		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員	
取組項目	地域密着型スポーツ推進委員の育成				
取組内容	スポーツ推進委員が地域と連携し活動できるよう、市内10地区に均等に配置します。 後期では、町内会自治会等の様々な地域団体と連携することで、地域の中での活動を広げ、地域のスポーツ活動の充実を図ります。				
指標	スポーツ推進委員が町内会自治会等と連携した地区数		現状値 (2023年度)	3地区	
			目標値 (2028年度)	10地区 (市内全域)	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	4地区	5地区	6地区	8地区	10地区
実施状況	1地区	4地区	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成瀬地区自治会</li> <li>・ニュースポーツのレクリエーション指導を行った。</li> <li>○木曾地区(忠生第3小学校まちとも)</li> <li>・ポッチャ、モルックの指導を行った。</li> <li>○鶴川地区自治会</li> <li>・高齢者向け体操教室を行った。</li> <li>○本町田地区自治会</li> <li>・高齢者向け体操教室を行った。</li> </ul>				
総括	4地区の町内会自治会と連携することができたものの、実施計画の数値には至らなかった。 各地区での取組内容や実績等を踏まえ、今後も、町内会自治会等と継続的な連携体制が構築できるよう、検討・調整を進めていく。				

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実  
 (2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ		
取組項目	地域スポーツクラブの活動支援と地域活動の推進					
取組内容	地域スポーツクラブの活動を支援し、地域と連携した活動の定着を図ります。 後期では、町内会自治会や小学校等の様々な地域コミュニティと連携することで、地域の中での活動を広げ、地域のスポーツ活動の充実を図ります。					
指標	町内会自治会や小中学校等、地域コミュニティと連携したクラブ数		現状値 (2023年度)	5クラブ		
			目標値 (2028年度)	10クラブ (市内全域)		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	7クラブ	8クラブ	9クラブ	10クラブ	10クラブ (市内全域)	
実施状況	7クラブ	9クラブ	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アスレチッククラブ町田 地域住民向けのスポーツ教室(サッカー、タッチラグビー、ダンス)に講師を派遣した。</li> <li>○相原地域総合スポーツクラブ 地域住民向けのスポーツイベントや、ジョギングイベントを開催した。</li> <li>○おやまスポーツ文化倶楽部 地域町内会と連携し、イベントを実施した。</li> <li>○町田スポーツ文化ネットワーク 小学校に講師を派遣し、スポーツ教室を開催した。</li> <li>○F-RUN(CRE SPEED ACADEMY) 地域イベントへの協賛や、子ども食堂との連携、サッカークラブ生への走り方教室を開催した。</li> <li>○町田いっぴ天クラブ 認知症への理解を深めるジョギングイベントに参加・協力した。</li> <li>○法政クラブ 地域住民向けのイベントでスポーツ教室を開催した。</li> <li>○コクア 市内の小学校の授業の一環で、ダンス講師として参加した。</li> <li>○KJA 市内の保育園児を対象とした柔道体験教室を開催した。</li> </ul>					
総括	従前から事業を実施している地域スポーツクラブに加えて、新規の地域スポーツクラブにおいても、地域住民を対象にしたスポーツ推進を行うことができた。 今後も、地域イベントへの参加・協力を通じて、地域に根差した活動の定着を図っていくため、地域スポーツクラブや町内会自治会、小中学校等、双方におけるニーズの把握を進めていく。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実  
 (2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-2		実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員 スポーツ協会 指定管理者		
取組項目	【再掲】家族で参加できるスポーツイベントの開催					
取組内容	すば一つ祭まちだや市民体力テスト等のイベントを実施し、家族で参加できるスポーツイベントを開催します。 後期では、より多くのイベントで、親子で一緒にスポーツを楽しめるよう工夫し、子育て世代の方のスポーツ実施率が向上するよう、取り組みます。					
指標	①すば一つ祭まちだ参加者数 ②市民体力テスト年間参加者数		現状値 (2023年度)	①延べ2,700人 ②172人		
			目標値 (2028年度)	①延べ2,700人 ②年180人		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人	①延べ2,700人 ②年180人	
実施状況	①延べ3,200人 ②年179人	①延べ1,100人 ②年141人	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	特に参加者の少ない20代から40代の働き盛り世代・子育て世代に多く参加してもらえるよう、親子で楽しめるニュースポーツ体験コーナー(カーレット)の設置を行った。 また、今までは体育館周辺の近隣小学校へチラシ配布していたが、市内全小学校へtetoru(保護者への連絡用アプリ)配信を行った。高齢者施設へのチラシ配布によるイベント周知を行った。 体力テストの測定対象は20歳から79歳までであるが、ファミリーで楽しんでもらえるように、6~19歳の方の測定用紙を用意したほか、小学生以下には参加賞を用意し、幅広い年代の方にご参加いただけるよう工夫した。また、包括連携協定を締結した民間事業者に協力いただき、骨密度測定会を実施した。					
総括	20代から40代は子育て中の方も多いため、事前周知として、tetoru配信を行うとともに、ファミリーで測定会に参加できるような環境づくりに配慮した。また、待ち時間短縮のため、一部レイアウトの見直しを行った。その効果もあり、ファミリーでの参加者が増加した。今後も、より多くの方に参加していただけるよう、関係団体等と連携し、イベント内容の充実を図っていく。					

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実

(2) スポーツを支える団体の支援・育成

番号	2-2-3		実施主体	スポーツ振興課	
取組項目	まちだサポーターズの組織化				
取組内容	まちだサポーターズを組織化し、スポーツイベントの運営に欠かせない存在に育成します。 後期では、まちだサポーターズが今後も組織として活動を継続できるよう、スキルアップ研修の実施等により、支援します。				
指標	まちだサポーターズの育成に関するスキルアップ研修やミーティングの実施状況		現状値 (2023年度)	実施	
			目標値 (2028年度)	実施	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	実施	実施	実施	実施	実施
実施状況	実施	実施	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務班と事務局との連絡会議(定例会)を月一回開催し、総会やmT、新人研修会、その他の企画に関する事項について話し合いを行った。</li> <li>・まちだサポーターズ自身が企画し、運営したポッチャ大会を12月に実施。34名のまちだサポーターズが参加した。聖火リレーコースを歩く企画は、昨年7月に開催したものの酷暑により中止となったため、2月に実施日を変え32名が参加した。11月に開催された町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」では、まちだサポーターズと学生ボランティアでポッチャ体験とスタンプラリーを企画・運営し、ポッチャには63名、スタンプラリーには77名に参加いただいた。</li> <li>・スキルアップのための研修では、9月に町田市保健所の職員が、日々のボランティア活動を元気に行うための健康づくりについての講義を実施した。</li> </ul> <p>※mT(読み:エムエムティー)(m=みんなで・もつと T=楽しくの略)とは、四半期に1度開催されるまちだサポーターズの定例会で、意見交換・情報共有・交流・親睦を目的に実施している。</p>				
総括	まちだサポーターズの自立化に向けた検討を行う、有志会員から構成される「総務班」の活動をおして、会員の育成を図った。 引き続きまちだサポーターズと協働し、自主運営事業の支援やスキルアップ研修の実施等を通じて、人材の育成や組織としての活動の継続に進めていく。				

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員		
取組項目	【再掲】「まちとも」等と連携した放課後のスポーツ推進					
取組内容	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが「まちとも」やその他の子ども向けの教室等で子どもたちにスポーツの楽しさを伝えます。後期では活動機会をさらに増やしていけるよう、スポーツ機会を提供する場の拡充を図ります。					
指標	スポーツ推進委員や地域スポーツクラブが地域と連携し子ども向けに機会提供した地区数		現状値 (2023年度)	3地区		
			目標値 (2028年度)	10地区		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	4地区	6地区	8地区	10地区	10地区	
実施状況	3地区	3地区	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	<p>【スポーツ推進委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○忠生第三小学校(木曾地区)</li> <li>・定期的にまちともへ参加し、ポッチャ、モルックを実施した。</li> <li>○鶴川第三小学校(鶴川地区)</li> <li>・オータムスクールに参加し、ポッチャやラダーゲッターを実施した。</li> <li>○小山中央小学校(小山・小山ヶ丘地区)</li> <li>・サマースクールに参加し、ポッチャやラダーゲッターを実施した。</li> </ul> <p>【地域スポーツクラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○忠生第三小学校(木曾地区) 町田スポーツ文化ネットワーク</li> <li>・毎週水曜日にまちともへ、講師を派遣し、スポーツ教室を開催した。</li> </ul>					
総括	「まちとも」等と連携が可能な地域スポーツクラブを把握するため、ヒアリングを行ったところ、連携が可能で連携を希望するクラブが数か所あることが確認ができた。しかし、2025年度内には、まちとも等への具体的なアプローチができず、目標値の達成には至らなかった。地域スポーツクラブとまちとも等を繋げるため、今後、調整を行っていく。					

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-2		実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課		
取組項目	大規模スポーツ広場6箇所を含む、調整池、公園・学校予定地等におけるスポーツ施設整備					
取組内容	大規模なスポーツ広場は公のスポーツ施設として整備し、その他の施設は市民利用を拡大します。					
指標	スポーツ施設数(公の施設)		現状値 (2023年度)	29施設 (有料開放している学校4施設含む)		
			目標値 (2028年度)	35施設		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	42施設	42施設	42施設	44施設	44施設	
実施状況	42施設	42施設	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○境川金森調節池上部公園(旧西田スポーツ広場)</li> <li>・境川金森調節池上部(旧西田スポーツ広場)の公園実施設計を行った。</li> <li>・調節池工事に伴う原状復旧について、東京都と費用負担に関する協定書を締結した。</li> <li>○町田木曾山崎パラアリーナ整備・運営事業(旧忠生第六小学校用地の一部)</li> <li>・事業者の選定に向けて、4月から公募を開始し、7月に提案書類の受付を行った。その後、10月に実施した、事業候補者選考委員会における評価結果を踏まえ、優先交渉権者を決定し、12月に市議会の議決を経て、事業者と本契約を締結後、基本設計に着手した。</li> </ul>					
総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・境川金森調節池上部公園(旧西田スポーツ広場)は、実施設計において確定した整備内容に基づき、2026年度～2027年度の2か年で工事を進める。</li> <li>・町田木曾山崎パラアリーナは、2028年度中の供用開始を目指して、事業者と連携・協力し、基本・実施設計及び施設整備を進めていく。</li> </ul>					

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-3		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員 公園緑地課	
取組項目	【再掲】市内10地区のスポーツマップの更新・活用				
取組内容	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を更新し、市内の全小学生に配布します。 後期ではさらに、スポーツ推進委員や地域スポーツクラブなどのスポーツ機会を提供する関係団体の情報をあわせて掲載します。				
指標	新たな情報追加地区数		現状値 (2023年度)	0地区	
			目標値 (2028年度)	10地区	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	2地区	4地区	7地区	10地区	10地区
実施状況	2地区	4地区	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームタウンチームと連携を図り、市内全域(10地区)のスポーツマップを作成し、小学校40校に配布した。</li> <li>新たに2地区のスポーツマップに、地域スポーツクラブの情報を掲載し、一層のスポーツ機会の提供を図った。</li> <li>配布した小学校の子どもたちだけでなく、未就学児の保護者等、子育て世代の方が情報を取得できるよう、スポーツマップのデータをホームページに公開し、ボール遊び等ができる公園については、市内全域の情報をホームページに公開した。</li> </ul>				
総括	ホームタウンチームの掲載内容を充実するとともに、新たに2地区で地域スポーツクラブの情報を掲載することが出来た。今後も、新たな情報を掲載できるよう、ホームタウンチームや地域スポーツクラブと調整を進めていく。				

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-4		実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課	
取組項目	公園のスポーツ利用の促進				
取組内容	2023年度に完成させた市内全10地区スポーツマップの情報更新などを行い、地域の身近なスポーツができる場の情報提供を行います。				
指標	最新情報の更新、新規掲載施設への対応(既存注意喚起看板の文言修正、新たな設置など)		現状値 (2023年度)	—	
			目標値 (2028年度)	更新対応	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	更新 対応	更新 対応	更新 対応	更新 対応	更新 対応
実施状況	更新 対応	更新 対応	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用に関するマナー看板を設置した。</li> <li>スポーツマップの情報を更新し、配布した。</li> </ul>				
総括	引き続き、情報提供を行い、公園のスポーツ利用を促進していく。				

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-5		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	夜間照明設備の設置					
取組内容	夜間照明設備を設置することにより利用時間の延長を行います。					
指標	夜間照明設置		現状値 (2023年度)	9施設		
			目標値 (2028年度)	9施設 検討		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	9施設 検討	9施設 検討	9施設 検討	9施設 検討	9施設 検討	
実施状況	検討	検討	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	既存施設における利用者数や稼働状況など、情報収集に努めた。					
総括	設置年数の浅い施設の利用者数や稼働状況などを確認しながら、引き続き、今後の方向性を検討していく。					

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-6		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	大学・企業連携によるスポーツ施設の市民利用拡大					
取組内容	大学・企業連携により、各団体が所有するスポーツ施設を市民が利用できるようにします。					
指標	連携団体数		現状値 (2023年度)	2団体		
			目標値 (2028年度)	4団体		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	新規2団体 調整	新規2団体 テスト利用	新規2団体 市民利用開始	新規開拓	4団体	
実施状況	新規2団体 調整	新規2団体 調整	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	<p>【継続実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○東京家政学院大学(登録団体数:27団体、登録者数:149人)</li> <li>・テニスコートの利用に関する連携事業を継続して実施した。また、施設利用の利便性向上のため、大学側と意見交換を行った。</li> <li>○法政大学</li> <li>・法政大学のスポーツ施設を活用し、スポーツ教室(バドミントン、陸上競技)を実施した。また、スポーツ教室の情報をホームページに掲載し、事業の周知を図った。</li> </ul> <p>【調整】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○サレジオ工業高等専門学校(新規)</li> <li>・貸出が可能な施設や、連携が可能な事業について、意見交換し、今後の方向性について検討した。</li> <li>○和光大学(新規)</li> <li>・貸出が可能な施設や、連携が可能な事業について、意見交換し、今後の方向性について検討した。</li> <li>○東京家政学院大学(拡充)</li> <li>・既に連携を開始しているテニスコートに加えて、屋内施設の活用について意見交換し、今後の方向性について検討した。</li> </ul>					
総括	昨年度に引き続き、新規の2団体とさらに具体的な調整を行い、1団体については、既存の事業の拡充について意見交換と検討を行った。しかし、テスト利用に向けた詳細までは調整することができず、目標値の達成には至らなかった。今後も、テスト利用、市民利用の開始に向け、申し込み方法等の具体的な事務手続きについても検討と調整を進めていく。					

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-7		実施主体	公園緑地課		
取組項目	野津田公園スポーツの森の整備					
取組内容	自然の中で楽しむ総合スポーツパークを目指した第二次野津田公園整備基本計画に基づき、幅広いスポーツやレクリエーションを楽しめるように野津田公園全体を再整備します。 第2期整備区域であるパークセンターゾーンの設計及び整備工事に着手します。					
指標	スケートパーク(パークセンターゾーンの一部)の整備		現状値 (2023年度)	基本設計完了		
			目標値 (2028年度)	-		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	実施設計	整備工事	整備完了	-	-	
実施状況	基本設計	実施設計	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	スケートパークの実施設計を行った。					
総括	実施設計において確定した整備内容に基づき、2026年度から2027年度までの2か年で工事を進める。					

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1)「する」スポーツ環境の充実

番号	3-1-8		実施主体	公園緑地課		
取組項目	忠生スポーツ公園の整備					
取組内容	最終処分場の上部を活用し、スポーツ施設などの整備を行うことで、多世代が集える公園として活用を図ります。 峠谷地区(旧埋立地を含む)に複数のスポーツ施設を整備します。					
指標	峠谷地区の整備		現状値 (2023年度)	-		
			目標値 (2028年度)	整備工事		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	-	-	基本設計	実施設計	整備工事	
実施状況	-	-	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	-					
総括	-					

基本目標3 スポーツ環境の充実  
 (2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-1		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	大規模大会等開催時のシティプロモーション					
取組内容	アクサブレイクアップ ブラインドサッカー日本選手権や、Fリーグ ディヴィジョン1 ファイナルシーズン等の大規模大会開催や、事前キャンプの受け入れ等を契機として、町田市の認知度向上を目指し、シティプロモーションにつなげます。					
指標	-		現状値 (2023年度)	実施		
			目標値 (2028年度)	実施		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	実施	実施	実施	実施	実施	
実施状況	実施	実施	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	2022年度から継続して、町田市立総合体育館が試合会場となっている、「アクサブレイクアップ ブラインドサッカー日本選手権FINALラウンド」において、日本ブラインドサッカー協会と連携し、ブラインドサッカー体験と試合観戦を組合わせた企画を実施した。					
総括	体験参加者からは、「体験を通じて、選手の凄さを実感した」、「目が見えないことの大変さがわかった」等の声もあり、バラスポーツの理解促進とともに、バラスポーツを通じた、シティプロモーションにもつながった。 今後も、大規模大会等開催の機会を捉え、シティプロモーションにつなげる事業を実施していく。					

基本目標3 スポーツ環境の充実  
 (2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-2		実施主体	教育委員会		
取組項目	【再掲】小学校連合体育大会の開催					
取組内容	市内全小学校が参加する連合体育大会を開催します。					
指標	連合体育大会参加学校数		現状値 (2023年度)	42校		
			目標値 (2028年度)	38校		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	42校	40校	39校	39校	38校	
実施状況	38校	40校	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	2025年度は、近隣小学校(2~3校)ごとで実施することとした。 40校を18グループに分けて、学校間で調整を図りながら計画的に進めた。 9月から11月にかけて各グループの会場校で実施した。 【参加校】 町田市立小学校 40校 【競技種目】 ・100m走 ・400mリレー ・長なわ 等 ※各グループで競技種目を決めて実施。					
総括	子どもたちの、自己の目標を達成する喜びを味わう姿や、他校との交流を深める中で、互いに認め合い励まし合う姿が見られた。グループごとでの開催が2年目となり、どのグループも円滑に運営することができた。本大会を通じて、他校の児童と交流、競技・応援することにより、スポーツを楽しむ機会となった。					

基本目標3 スポーツ環境の充実  
 (2)「みる」スポーツ環境の充実

番号	3-2-3		実施主体	ホームタウンチーム スポーツ振興課 広報課 公園緑地課	
取組項目	パブリックビューイング等の実施				
取組内容	ホームタウンチームの試合や町田ゆかりのアスリートが国際大会や全国大会に出場する際など、パブリックビューイング等を実施し、オール町田の一体感を創出します。				
指標	-		現状値 (2023年度)	実施	
			目標値 (2028年度)	実施	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	実施	実施	実施	実施	実施
実施状況	実施	実施	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	パブリックビューイングについては、ホームタウンチーム独自の取り組みとして、FC町田ゼルビアが2025シーズン中に、南町田グランベリーパークや三輪緑山ベースのクラブハウス等で合計85回実施した。 また、町田市ゆかりのアスリートを応援するとともに、デフリンピックの気運醸成を目的として、町田駅ペDESTリアンデッキのデジタルサイネージを活用して、大会に出場する選手情報を放映した。				
総括	2025年度は、市内の各所において、FC町田ゼルビアが主体となり、パブリックビューイングを実施した。 今後も、ホームタウンチームや関係団体等と連携し、パブリックビューイングを含めた、「みる」スポーツ環境の充実を図っていく。				

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり

(1) スポーツ情報の発信

番号	4-1-1		実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員 公園緑地課	
取組項目	【再掲】市内10地区のスポーツマップの作成・活用				
取組内容	地域のスポーツが楽しめる場所やスポーツ情報がまとめられた地図を更新し、市内の全小学生に配布します。 後期ではさらに、スポーツ推進委員や地域スポーツクラブなどのスポーツ機会を提供する関係団体の情報をあわせて掲載します。				
指標	新たな情報追加地区数		現状値 (2023年度)	0地区	
			目標値 (2028年度)	10地区	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	2地区	4地区	7地区	10地区	10地区
実施状況	2地区	4地区	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームタウンチームと連携を図り、市内全域(10地区)のスポーツマップを作成し、小学校40校に配布した。</li> <li>・新たに2地区のスポーツマップに、地域スポーツクラブの情報を掲載し、一層のスポーツ機会の提供を図った。</li> <li>・配布した小学校の子どもたちだけでなく、未就学児の保護者等、子育て世代の方が情報を取得できるよう、スポーツマップのデータをホームページに公開し、ボール遊び等ができる公園については、市内全域の情報をホームページに公開した。</li> </ul>				
総括	ホームタウンチームの掲載内容を充実するとともに、新たに2地区で地域スポーツクラブの情報を掲載することが出来た。今後も、新たな情報を掲載できるよう、ホームタウンチームや地域スポーツクラブと調整を進めていく。				

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり

(1) スポーツ情報の発信

番号	4-1-2		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 ホームタウンチーム	
取組項目	【再掲】ホームページやSNS等多様な媒体・手段を活用した運動動画等の情報発信				
取組内容	SNS等を情報源とする世代の方を主な対象とし、時間や場所を選ばずにできる運動動画や、スポーツ施設等の情報を発信することで、スポーツをする機会を持ちやすくなるよう働きかけます。その他、スポーツに関わる様々な情報を発信することで、スポーツ自体への関心が高まるよう働きかけます。				
指標	運動関連動画等の発信数		現状値 (2023年度)	60件	
			目標値 (2028年度)	60件	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	60件	60件	60件	60件	60件
実施状況	166件	265件	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>【野津田公園】野津田公園内のスポーツ関連の自主事業の案内をinstagramで紹介。</li> <li>【町田市立総合体育館】毎月1回公式YouTubeにて自宅で見られるトレーニング動画の配信</li> <li>【成瀬クリーンセンターテニスコート】毎月1回公式YouTubeにて自宅で見られるトレーニング動画の配信</li> <li>【三輪みどり山球場】毎月1回公式YouTubeにて自宅で見られるトレーニング動画の配信</li> <li>【緑ヶ丘グラウンド】毎月1回公式YouTubeにて自宅で見られるトレーニング動画の配信</li> <li>【町田中央公園】Instagramを開設。施設や教室案内を投稿。約70回投稿を実施。</li> <li>【鶴間公園】SNSでスポーツイベント、キャンペーン告知、施設空き状況などを100回発信。</li> <li>【室内プール】おうちでできる かんたん運動動画(Facebook)を45回配信。</li> <li>【スポーツ振興課】新たに、防災をテーマとしたストレッチ動画1本を配信。</li> </ul>				
総括	SNSを有効に活用することで、施設内の掲示やホームページ以外で、定期的に各種取り組みをPRすることができた。また、動画視聴だけでなく、教室やイベントの集客にもつながった。今後も、より多くの市民がスポーツに関する情報を得られるよう、配信件数や投稿回数を増やすとともに、内容の充実を図っていく。				

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり  
 (2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-1		実施主体	スポーツ振興課 指定管理者		
取組項目	ホームタウンチームと連携したPR活動					
取組内容	ホームタウンチームと連携し、スポーツ施設や駅周辺をチームカラーに装飾します。また、ホームタウンチームの地域活動を支援します。					
指標	-		現状値 (2023年度)	実施		
			目標値 (2028年度)	実施		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	実施	実施	実施	実施	拡大	
実施状況	実施	実施	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Xを活用し、ホームタウンチームの試合結果や活動状況等の情報を発信した。</li> <li>・Fリーグの開幕に合わせ、町田駅ペDESTリアンデッキに横断幕、タペストリーを設置した。庁内では応援ウィークを開催し、イベントスタジオの展示、庁舎ライトアップ、選手による挨拶回りなどのPR活動を実施した。また、ホームアリーナである総合体育館にて、チームカラーを用いた装飾を実施した。</li> <li>・明治安田J1百年構想リーグホーム開幕戦に合わせ、町田駅ペDESTリアンデッキにタペストリーを設置し、ゼルビアカラーに装飾すると同時に庁内での応援ウィークを実施した。また、ペDESTリアンデッキのウォールギャラリーへホームタウンチームの壁面装飾とポスター掲出を実施した。</li> <li>・町田GIONスタジアムの最寄り駅である鶴川駅の北口広場にて、工事用フェンスや仮設陸橋にFC町田ゼルビアの装飾を実施した。</li> </ul> 町田市立総合体育館や市立室内プールでは、館内モニターで常時ホームタウンチームの試合映像を放映しているほか、PRブースの設置やイベント時に来場者と一緒にホームタウンチーム応援幕を作成し、掲示する等して、PR活動を実施した。					
総括	町田駅を中心に、装飾物の設置等を行ったことで、市内・市外を問わず、多くの方の目に触れ、ホームタウンチームを知るとともに、応援機運の醸成に繋がった。今後も、装飾物等の掲出内容の更新や、劣化による交換を適宜実施する必要があるため、ホームタウンチームと連携し、より効果的なPR活動につながるよう、検討・調整を進めていく。					

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり  
 (2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-2		実施主体	スポーツ振興課		
取組項目	【再掲】大規模大会等開催時のシティプロモーション					
取組内容	アクサブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権や、Fリーグ デイヴィジョン1 ファイナルシーズン等の大規模大会開催や、事前キャンプの受け入れ等を契機として、町田市の認知度向上を目指し、シティプロモーションにつなげます。					
指標	-		現状値 (2023年度)	実施		
			目標値 (2028年度)	実施		
年度	2024	2025	2026	2027	2028	
実施計画	実施	実施	実施	実施	実施	
実施状況	実施	実施	-	-	-	
2025年度 具体的な 取り組み	2022年度から継続して、町田市立総合体育館が試合会場となっている、「アクサブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権FINALラウンド」において、日本ブラインドサッカー協会と連携し、ブラインドサッカー体験と試合観戦を組合わせた企画を実施した。					
総括	体験参加者からは、「体験を通じて、選手の凄さを実感した」、「目が見えないことの大変さがわかった」等の声もあり、バラスポーツの理解促進とともに、バラスポーツを通じた、シティプロモーションにもつながった。今後も、大規模大会等開催の機会を捉え、シティプロモーションにつなげる事業を実施していく。					

基本目標4 スポーツを通じたまちづくり  
 (2) スポーツを通じたシティプロモーション

番号	4-2-3		実施主体	スポーツ振興課	
取組項目	地域活性化につながるスポーツ大会の開催に向けた関連団体との連携強化				
取組内容	「ラグビーワールドカップ2019」や「東京2020オリンピック・パラリンピック大会」などを契機に築いた、関係国、関係団体との連携体制をさらに深めることで、大規模大会開催や事前キャンプ等招致に向けた連携強化を図ります。				
指標	-		現状値 (2023年度)	実施	
			目標値 (2028年度)	実施	
年度	2024	2025	2026	2027	2028
実施計画	実施	実施	実施	実施	実施
実施状況	実施	実施	-	-	-
2025年度 具体的な 取り組み	2022年度から町田市で開催している「アクサブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権」では、日本ブラインドサッカー協会と連携し、ブラインドサッカー体験と試合観戦をセットにした企画を実施した。 【実施主体】特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会 【内容】バラスポーツの理解促進及び共生社会の実現に向けて、ブラインドサッカー日本選手権FINAL当日にブラインドサッカー体験会を実施した。				
総括	体験会には30名に参加いただき、大いに盛り上がりみせた。体験者からは「参加してみて選手の凄さが体感できた」、「目が見えないことの大変さがわかった」など、バラスポーツの理解が深まるとともに、共生社会の実現に向けた一歩となった。				

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員
取組項目	スポーツにチャレンジの開催		
2025年度 具体的な 取り組み	今年度は、子どもセンターや体育館などへのチラシ配布を取りやめtetoru配信を行った。また体育館だけでなく、地域の市民センターでスポーツにチャレンジを開催した。体育館ではトランポリンやボール運動、マット運動などを組み合わせて行う複合種目とラダーゲッターやドッチビーなどのニュースポーツ体験を行い、市民センターでは体操やレクリエーションを組み合わせ活動を行った。		
総括	各回で実施したアンケートにおいて、参加者からは、思い切り体を動かすことの楽しさや嬉しさ、また、親子で運動ができる機会の提供に対する感謝等、肯定的な意見が多く寄せられた。 こうした意見を踏まえ、今後も継続して事業を実施していく。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
 (1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 子どもマラソン実行委員会
取組項目	町田市子どもマラソン大会の開催		
2025年度 具体的な 取り組み	今年度は安全管理上の観点から、申込者数が多い学年は2レースに分割して実施した。また、迷子対応に特化した迷子受付を新設。第53回大会もゲストの招聘や各種ブースの出展を行い、マラソン以外でも楽しんでいただけるような企画を実施した。今年度、新たに警察や消防などの関係機関に関する市民啓発動画を放映した。		
総括	2024年度から、手続きの簡素化を図るため、オンライン申請を導入したものの、参加者数は111人減少した。一方で、申請者の参加率は、前回と同程度の数値であったことから、導入効果の検証を進めるため、引き続き、実施していく。 また、関係団体等と連携して、各種ブースの出店を行う等、マラソン以外の部分でも、来場者に楽しんでもらえる企画を実施した。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ推進委員
取組項目	地域スポーツクラブ・スポーツ推進委員・指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2025年度 具体的な 取り組み	<p>【地域スポーツクラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法政大学のスポーツ施設を活用し、法政クラブによるスポーツ教室を実施した。</li> <li>・地域子どもセンターで子ども・親子向けスポーツ教室を実施した。また、被災時などでも行える運動動画を作成し、ホームページで公開した。</li> </ul> <p>①スポーツ教室(対面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協栄</li> <li>実施教室:モルック体験教室</li> <li>場 所:成瀬コミュニティセンター(成瀬コミュニティセンター祭)</li> <li>参加人数:286人</li> </ul> <p>②スポーツ教室(対面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ギオン</li> <li>実施教室:被災時でもできるストレッチ教室</li> <li>場 所:シバヒロ(防災フェスタ)</li> <li>参加人数:200人</li> </ul> <p>③スポーツ教室(対面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コクア</li> <li>実施教室:親子ヨガ教室</li> <li>場 所:芹が谷公園(Future Park Lab Winter)</li> <li>参加人数:4組</li> </ul> <p>④スポーツ教室(対面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスレチッククラブ町田</li> <li>実施教室:災害にそなえるスポーツ!エコノミークラス症候群予防運動</li> <li>場 所:子どもセンターばお(防災フェスタ)</li> <li>参加人数:45人</li> </ul> <p>⑤運動動画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスレチッククラブ町田</li> <li>実施内容:防災に関連したストレッチ動画を作成</li> </ul> <p>【スポーツ推進委員】</p> <p>学校からの依頼に応じて、市内4校(七国山小学校、南大谷小学校、函師小学校、小山中央小学校)でポッチャ教室を行い、合計で449名の参加があり、ポッチャ競技の簡単な講義、ルール説明や実技を行った。</p> <p>また、七国山小学校では、別日に楽しい遊びの紹介やレクチャーも実施した。(90名が参加)</p> <p>加えて、小山中央小学校のサマースクール(20名が参加)、鶴川第三小学校のオータムスクール(10名が参加)、忠生第三小学校のまちとも(4月から9月までに計5回)において、ポッチャやモルック等を行った。</p> <p>南大谷中学校では、東京都障がい者スポーツ協会からの依頼を受け、ポッチャ指導運営補助を行った。</p>		
総括	<p>各地域で行われるイベント内において、スポーツ教室を実施することができた。また、未就学児を含め、子どもだけでなく親も一緒に参加できるような内容にする等の工夫を行った。今後も継続して、教室を実施していくとともに、多くの方に参加いただけるよう、内容等を工夫していく。</p> <p>加えて、学校ボランティアコーディネーターからの依頼が増加傾向にあるため、今後も継続して、教室事業等を実施していく。</p>		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実

(1) 子どものスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2025年度 具体的な 取り組み	<p>【野津田公園】 延べ9,630人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニア陸上教室、部活動地域移行事業、エブリデイ健康教室、ユニカル教室、マレットゴルフ一般学習教室、各パークヨガを実施。</li> </ul> <p>【総合体育館】 延べ8,954人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各体操教室、小学生球技教室、ジュニアバドミントン教室、バスケットボール教室、HIPHOPダンス教室、ハンドボール教室、チアスクール、フットサルスクール、小・中学生柔道教室、親子リトミック教室、その他無料体験教室を実施。</li> </ul> <p>【成瀬クリーンセンターテニスコート】 延べ10,701人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成瀬クリーンセンターテニスアカデミー、成瀬ジュニアトーナメント大会、早朝開放(夏季期間中)、ジュニアテニス練習会、テニピン&amp;ストラックアウト体験、テニス&amp;体幹トレーニング、親子テニス教室等を実施。</li> </ul> <p>【緑ヶ丘グラウンド】 延べ1,655人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料開放、親子スポーツ教室、キッズサッカー教室、ニュースポーツ体験教室、体力テストを実施。</li> </ul> <p>【町田薬師池公園四季彩の杜西園】 延べ227人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ママのためのヨガ、フルムーンナイトヨガ、夜ヨガを実施。</li> </ul> <p>【中央公園】延べ6,067人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各器械体操、各ヒップホップ教室、各体操教室、トランポリン、短期小学生バドミントン、各バスケットボール教室、チアキッズスクール、小学生バレーボールスクール、各総合スポーツスクール、バスカドーラ町田フットサル教室を実施。</li> </ul> <p>【鶴間公園】 延べ20,500人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども向け通年制教室(サッカー・テニス・かけっこ・ラグビー・スタジオ)を実施。</li> </ul> <p>【室内プール】 延べ11,673人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児・小学生水泳スクール・キッズダンス、ういてまて、こどもに教えるための水泳教室を実施。</li> </ul>		
総括	<p>各施設において、指定管理者の特色を活かしながら、様々な教室等を実施できた。参加者数についても、毎年、着実に増加しているため、今後も、指定管理者と連携し、取組を推進していく。</p>		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
 (2) 働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2025年度 具体的な 取り組み	<p>【総合体育館】延べ3,177人                      ・フラダンス、らくゆるメソッド、ピラティス、初心者太極拳教室、初心者初級者卓球教室、初心者アーチェリー教室、初心者和弓教室、ニュースポーツ体験教室、脳を鍛えるリフレッシュ体操教室、お腹周り引き締め教室、ビューティーボディ教室、超柔らかくなるストレッチ教室、地域スポーツ環境の充実事業派遣教室等を実施。</p> <p>【成瀬クリーンセンターテニスコート】延べ10,166人                      ・成瀬クリーンセンターテニスアカデミー、早朝開放(夏季期間中)、オープンしゃっふるダブルス練習会、親子テニス教室等を実施。</p> <p>【町田薬師池公園四季彩の杜西園】延べ227人                      ・ママのためのヨガ、フルムーンナイトヨガ、夜ヨガを実施。</p> <p>【中央公園】延べ13,038人                      ・太極拳、各健康体操、卓球、骨盤調整、ストレッチボール、アンチエイジング体操、自重トレーニング、初心者太極拳、脳トレ&amp;筋トレ体操、初めてのフラダンス、脳トレ&amp;リフレッシュダンスを実施。</p> <p>【鶴間公園】延べ8,500人                      ・ヨガ教室、ピラティス教室、テニス教室、フットサル教室、親子教室プログラム等を実施。</p> <p>【室内プール】延べ2,180人                      ・週末ヨガ、親子ヨガ、早朝公開を実施。</p>		
総括	既存の生活習慣病の予防・改善を意識した教室事業に加え、各施設の指定管理者が有するノウハウなどを活かした、新規の取組みも行うことができた。 今後も、対象とする年齢層の幅を広げる等、より多くの市民が参加できるよう、種目や内容の充実を図っていく。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
 (2) 働き盛り世代・子育て世代のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者 保健所
取組項目	生活習慣病予防を目的とした健康づくり教室の実施		
2025年度 具体的な 取り組み	<p>町田市立総合体育館にて開催した「チャレンジマッスル」において、減塩について考えてもらうことを目的に「いくつしてる？塩のあれこれ！たべものクイズ」を出題した。運動イベントと絡めつつ、子育て世代に望ましい食習慣を促す機会とした。                      クイズ参加者:357名</p> <p>糖尿病の発症予防を目的に運動教室を開催した。運動と食生活は発症予防に外せない要素であり、併せて教育を行うことでより効果の高い事業となった。                      教室参加者:40名(見込み)</p> <p>【市立総合体育館】延べ18,540人                      ・ニュースポーツ開放事業、無料血管年齢測定事業、健康測定会、チャレンジマッスル2025、フィットネスまつり、地域スポーツ体験教室を実施。</p> <p>【緑ヶ丘グラウンド】延べ91人                      ・ツサイチ・フットサル教室を実施。</p> <p>【室内プール】延べ834人                      ・各エアロ、各泳法教室、ワンポイントレッスン、各ヨガ、ポールdeボディケア、のびのび体操&amp;ストレッチ、バランスボール等を実施。</p> <p>【町田薬師池公園四季彩の杜西園】延べ2,184人                      ・気功太極拳教室、各種ヨガ教室、ピラティス教室、大人のフラダンス教室等を実施。</p> <p>【野津田公園】延べ522人                      ・パークヨガ(ベーシック・すつきりフローヨガ)を実施。</p> <p>【町田中央公園】延べ4,296人                      ・自重トレーニング教室、アンチエイジング体操、健康体操☆☆を実施。</p>		
総括	運動と食事を合わせた取組を行うことで、より効果的な生活習慣病予防へのアプローチができたため、引き続き、運動と食事を合わせた健康づくり教室を実施していく。 無料かつ、開放型の事業は、毎日多くの方に利用いただき、測定事業は、日々の日課として参加される方も多く、市民の生活習慣改善に寄与したと考える。 引き続き、生活習慣病に効果的な、有酸素運動と筋力トレーニング等を組合わせて行う教室を実施する等、多くの利用者ニーズに応えられるよう、取組を進めていく。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 地域スポーツクラブ スポーツ推進委員
取組項目	地域スポーツクラブやスポーツ推進委員によるスポーツ教室の実施		
2025年度 具体的な 取り組み	【スポーツ推進委員】 依頼に応じて南第3高齢者支援センター地域介護予防教室でモルック教室を2回実施し、競技に関する簡単な講義やルール説明、実技を行った。		
総括	気軽に参加できるよう、事前の申込みを不要とする等の工夫を行った。各回の参加者からは、好評をいただいているため、今後も継続して取組を推進していく。		

基本目標1 スポーツへの参加機会の充実  
 (3) 高齢者のスポーツ推進

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 指定管理者
取組項目	指定管理者によるスポーツ教室の実施		
2025年度 具体的な 取り組み	<p>【総合体育館】 延べ40,008人                      ・フラダンス、らくゆるメソッド、ピラティス、各太極拳教室、各卓球教室、初心者アーチェリー教室、初心者和弓教室、ニュースポーツ体験教室、脳を鍛えるリフレッシュ体操教室、かんたん護身術教室、各ズンバ、のびのび健康づくり体操、ヨガ、身体いきいき体操、エアロビクス、ライトシェイプボディ、手ぬぐい体操、アンチエイジング体操、リズム体操、ボディームーブ、ピラスタ、バドミントン、フィットネスまつり等を実施。</p> <p>【成瀬クリーンセンターテニスコート】 延べ460人                      ・早朝開放(夏季期間中)、シニアミックスダブルスオープン等を実施。</p> <p>【緑ヶ丘グラウンド】 延べ3,160人                      ・グラウンドゴルフ、ターゲットバードゴルフ、ニュースポーツ体験教室等を実施。</p> <p>【町田薬師池公園四季彩の杜西園】 延べ227人                      ・ママのためのヨガ、フルムーンナイトヨガ、夜ヨガを実施。</p> <p>【中央公園】 延べ23,445人                      ・各ヨガ、各バドミントン教室、各ズンバ、バレトン、ボディパンプ、ボディコンパット、ボディバランス、各ピラティス、大人の初めてのHIPHOP、勤労者初級者初心者卓球教室、ラテンエアロ、エアロビクス、バレーボールを実施。</p> <p>【鶴間公園】 延べ250人                      ・高齢者向けプログラム「太極拳」を実施。</p> <p>【室内プール】 延べ11,884人                      ・各エアロ、各水泳教室、水中ウォーク、ヨガ、ボールdeボディケア、フラダンス、のびのび体操&amp;ストレッチ、バランスボール、ゆがみ改善運動、リズムに合わせてボクシングを実施。</p>		
総括	各施設において、指定管理者の特色を活かしながら、様々な教室等を実施できた。参加者数についても、毎年、着実に増加しているため、今後も、指定管理者と連携し、取組を推進していく。		

基本目標2 スポーツにかかわる人材と組織の充実

(1) スポーツを支える人材の育成

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 スポーツ協会
取組項目	有資格指導者データベースの作成・情報提供		
2025年度 具体的な 取り組み	スポーツ協会事務局及び協会内のスポーツ育成委員会等と連携し、各競技団体の有資格者データを作成するため、調査及び活用方法等について検討を行った。		
総括	スポーツ協会と協力し、各競技団体及び競技の特性に応じて有資格者データの作成に向けた調査を進め、他自治体等の取り組みも参考にしながら活用方法・課題等を洗い出し、実現に向けて取組を推進していく。		

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1) 「する」スポーツ環境の充実

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課 公園緑地課
取組項目	スポーツ施設改修に伴う施設の機能向上(野津田公園照明改修)		
2025年度 具体的な 取り組み	2024年度に施工済み。		
総括	-		

基本目標3 スポーツ環境の充実

(1) 「する」スポーツ環境の充実

番号	その他取組項目	実施主体	スポーツ振興課
取組項目	スポーツ施設改修に伴う施設の機能向上(総合体育館改修)		
2025年度 具体的な 取り組み	2027年度実施予定の総合体育館の大規模改修に向け、2025年度から基本設計を開始するとともに、利用者やスポーツ団体、指定管理者等に、大規模改修に向けたアンケート調査を行った。 また、施設を安全・安心に利用できるよう、外壁の改修工事等を行った。		
総括	2027年度実施予定の大規模改修に向けて、2025年度から2026年度にかけて、基本・実施設計を実施する。		